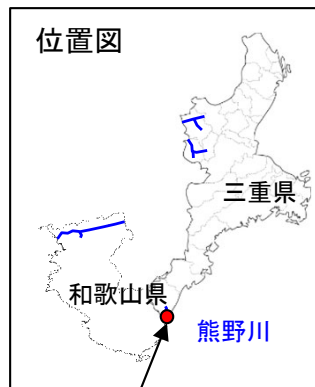


## ●景観形成の目標像

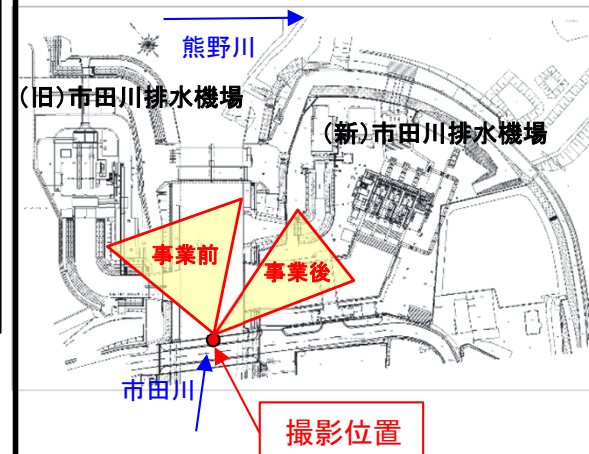
周辺の既存環境との調和を図る。

- ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方  
当機場は熊野川の河口部に位置し、周辺には海岸や河口砂州などの自然景観を有しており、周辺景観との調和を図るため、建屋の立面形状を単純化した。
- ②細部設計、材料等の選定の考え方  
周辺環境との調和や地域らしさの創出にあたり、排水機場施設内の柵に地域固有の紀州材を使用した。



和歌山県新宮市あけぼの地先

## 事業箇所(平面図)

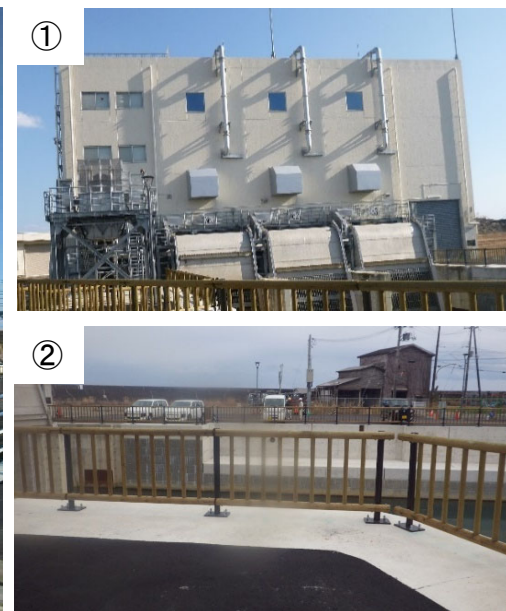


事業概要: 新宮市街地等の浸水被害の軽減を目的に、新宮川水系熊野川の河口付近に立地している市田川排水機場のポンプ増強を実施。

(事業前)



(事業後)



## ● 景観形成の目標像

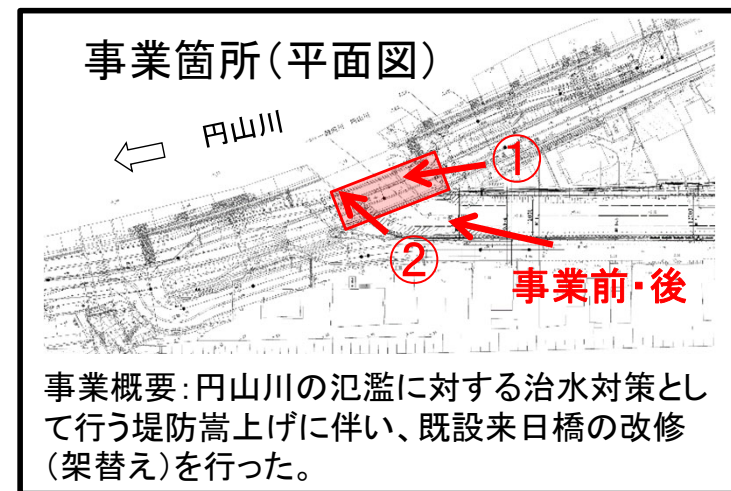
円山川と周辺山並みの雄大な景観を可能な限り保全した周辺景観に馴染む水辺空間

### ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

橋梁地覆上に設置する防護柵の色彩が周辺景観に馴染むよう配慮した。

### ② 細部設計、材料等の選定の考え方

防護柵の色彩は「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン（平成16年3月、国土交通省）」の準拠色且つ、兵庫県の景観ガイドラインに示される色彩のダークグレーを採用した。



(事業前)



(事業後)



①



②



## ● 景観形成の目標像

周辺の自然景観の雰囲気を壊さない砂防事業

→ 六甲山の自然景観に調和する砂防空間

### ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

ハイカーや地域住民の視線に配慮し、計画地周

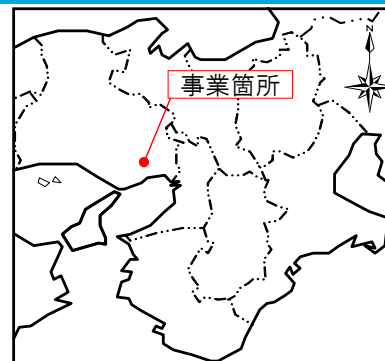
辺の豊かな自然との馴染みを重視した整備を行う

ため、鋼製スリットはダークブラウン系とした。

### ② 細部設計、材料等の選定の考え方

堰堤本体は、周辺景観と調和するように、化粧型枠を用いて

施工した。



(事業後)

(事業前)



## ●景観形成の目標像

周辺の自然景観の雰囲気を壊さない砂防事業

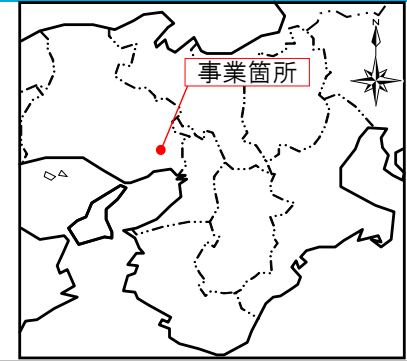
→六甲山の自然景観に調和する砂防空間

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

ハイカーや地域住民の視線に配慮し、計画地周辺の豊かな自然との馴染みを重視した整備を行うため、鋼製スリットはダークブラウン系とした。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

堰堤本体は、周辺景観と調和するように、化粧型枠を用いて施工した



(事業後)

(事業前)



## ●景観形成の目標像

周辺の自然景観の雰囲気を変えない砂防事業

→六甲山の自然景観に調和する砂防空間

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

ハイカーや地域住民の視線に配慮し、計画地周辺の豊かな自然との馴染みを重視した整備を行うため、鋼製スリットはダークブラウン系とした。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

堰堤本体は、周辺景観と調和するように、化粧型枠を用いて施工した



(事業前)



(事業後)



### ● 景観形成の目標像

「大野市景観計画」を基に、大自然景観地域、大野盆地景観地域に配慮しながら、美しい山々との眺望を確保し、国道158号沿道などの自然環境との調和した道路空間とする。

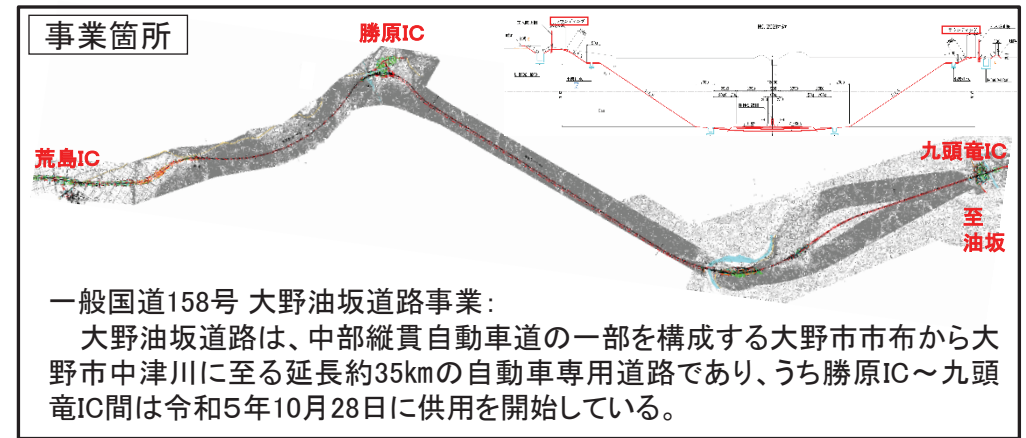


### ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

自然景観と調和させ、利用者にとっても圧迫感がなく、調和と安定感が感じられる形状とするため、法面緑化を行った。

### ② 細部設計、材料等の選定の考え方

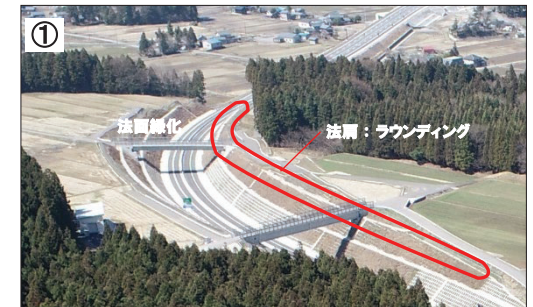
永平寺大野道路と整合を図り、かつ樹林地の景観に配慮するため、車両用防護柵等はダークブラウン系とした。自然地山の景観との調和に配慮するため、切土区間のラウンディング処理を行った。



(事業前)



(事業後)



### ● 景観形成の目標像

「大野市景観計画」を基に、大自然景観地域に配慮しながら、美しい山々との眺望を確保し、国道158号沿道などの自然環境との調和した道路空間とする。

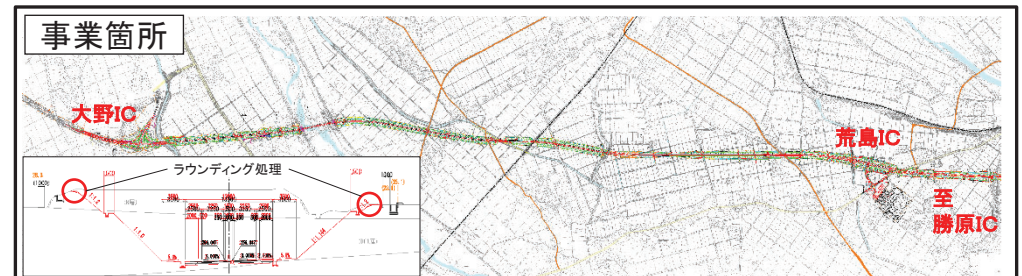


### ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

自然景観と調和させ、利用者にとっても圧迫感がなく、調和と安定感が感じられる形状とするため、法面緑化を行った。

### ② 細部設計、材料等の選定の考え方

標識柱等は、景観に配慮するため、ブラウン系とした。自然地山の景観との調和に配慮するため、切土区間のラウンディング処理を行った。



一般国道158号 大野油坂道路事業:

大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成する大野市市布から大野市中津川に至る延長約35kmの自動車専用道路であり、うち大野IC～勝原IC間が令和5年3月19日に供用を開始している。

(事業前)



(事業後)



## ●景観形成の目標像

山間部の自然環境を尊重し、山並みと調和した道路整備を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

防護柵は、道路の連続性を感じさせると共にできるだけシンプルな形状とした。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

防護柵の色彩は、周辺景観との調和と運転手の視認性、連続性に考慮した。



一般国道417号 冠山峠道路事業：

冠山峠道路は、岐阜県揖斐川町と福井県池田町を結ぶ延長約7.8kmの道路であり、令和5年11月19日に供用を開始している。

(事業前)



(事業後)





## ●景観形成の目標像

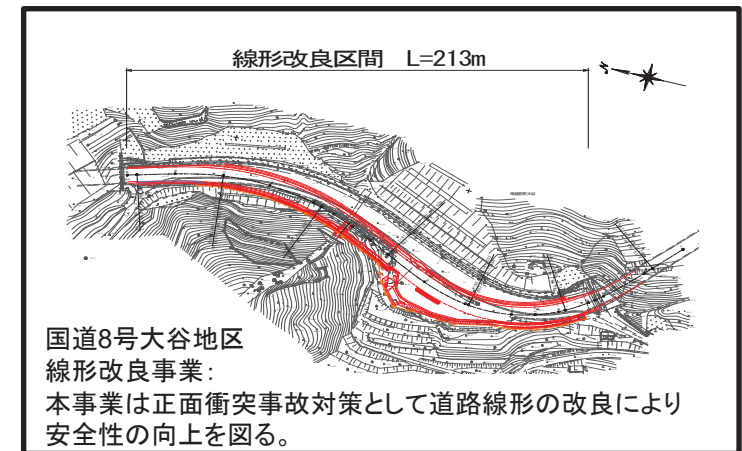
自然景観の特性を有する地域に調和した道路空間の形成を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

統一感のある連続的な空間を形成するため、「景観配慮型防護柵のマスタープラン」に基づく防護柵を選定し、存在感の低減、人との親和性に配慮したデザインでシンプルな形状とした。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

防護柵の色彩は、周辺の景観と調和するため、ダークブラウンとした。



(事業前)



(事業後)



## ●景観形成の目標像

自然景観の特性を有する地域に調和した道路空間の形成を行う。

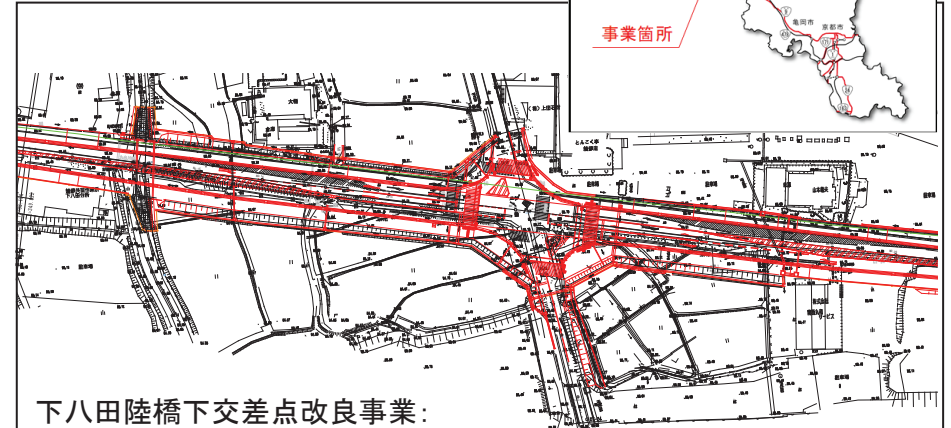
### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

統一感のある連続的な空間を形成するため、「景観配慮型防護柵のマスタープラン」に基づく防護柵を選定し、存在感の低減、人との親和性に配慮したデザインでシンプルな形状とした。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

防護柵の色彩は、周辺の景観と調和するため、ダークブラウンとした。

【位置図】

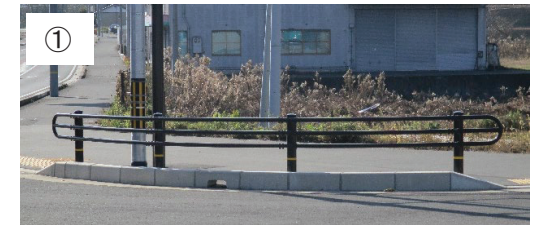


下八田陸橋下交差点改良事業:

右折レーンの延伸、拡幅を行うことで事故の防止を図ると共に、併せて歩道設置を行い、安全な通行空間を確保した。

(事業後)

(事業前)



## ●景観形成の目標像

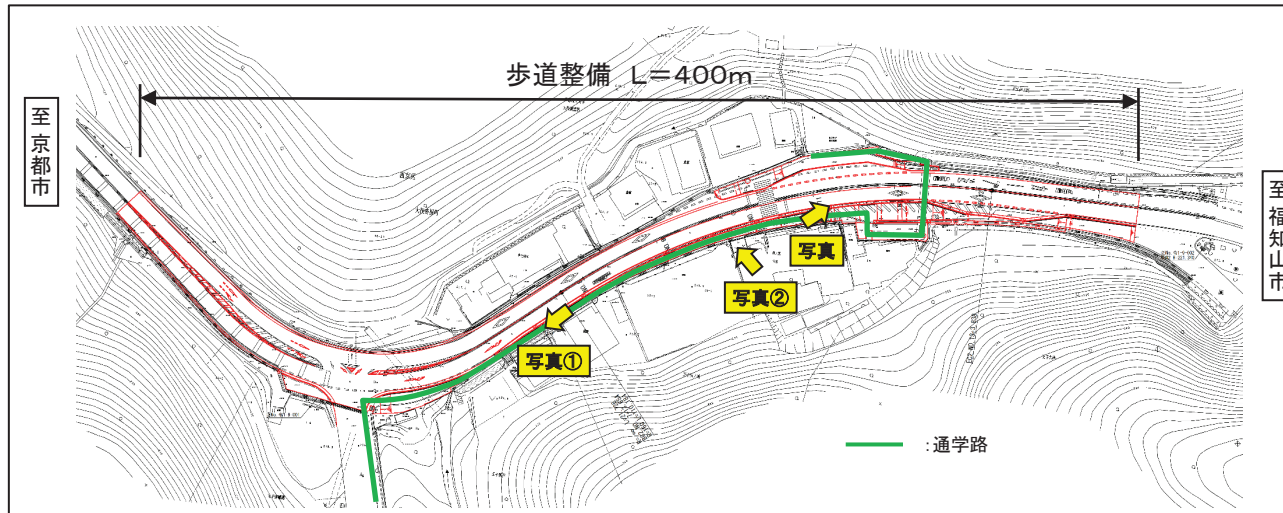
周辺の景観に配慮した歩道整備を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

横断防止柵等の色彩、形状などにおいて景観への配慮を行った。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

横断防止柵等の整備において、透過性への配慮、存在感の低減に配慮するため、ダークブラウンの色彩とした。



### 【歩道事業】

当該箇所は、小・中学校へ通学するためのバス停があり、児童がバス停へ向かう通学路となっているものの、歩道が未整備であり、通学中の児童のすぐ横を大型車両が通行しており非常に危険な状況であった。

本事業により、集落入口からバス停までの歩道を整備することにより、安心して通行できる通学路の確保を行った。

(事業前)



(事業後)



写真①



写真②



## ● 景観形成の目標像

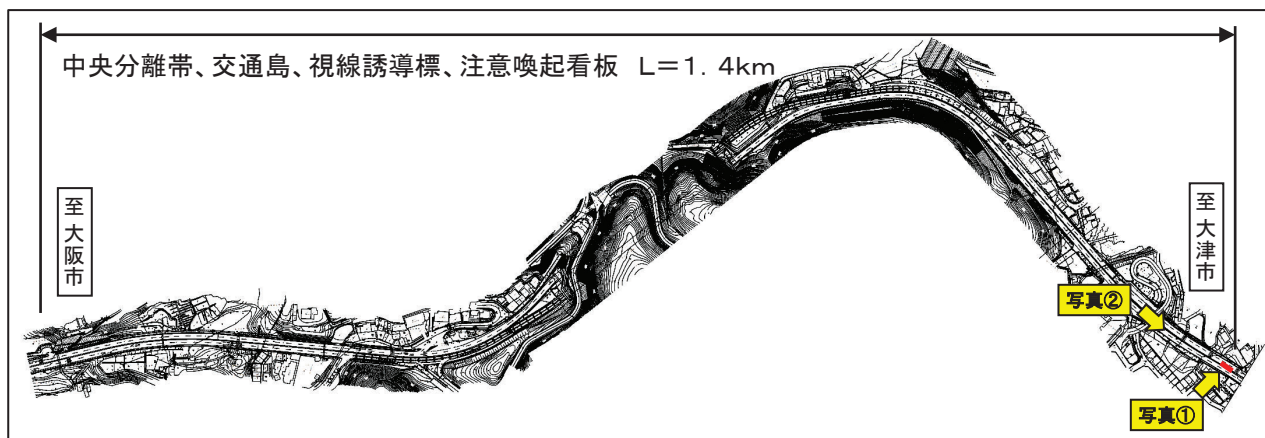
周辺の景観に配慮した交通安全事業を行う。

### ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

ボックスビーム等の整備において、眺望障害や自然景観へ配慮するため、景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインを参考に整備を実施した。

### ② 細部設計、材料等の選定の考え方

色彩は存在感の低減に配慮するため、ダークブラウンとした。



### 【交通安全対策】

当該箇所は峠を越える区間のため、縦断勾配が急であり、信号も少ないため、非常に走行速度が高い状況である。また、一部区間で府道渋谷山科停車場線との分岐があり、国道の線形を誤認しやすく、急ハンドルや急制動による接触事故が発生するなど、非常に危険な箇所となっている。

本事業において、中央分離帯、交通島等の設置により、通行車両の安全の確保を図るものである。

(事業前)



(事業後)



写真①



写真②



## ●景観形成の目標像

周辺の市街地景観と調和した歩道整備を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

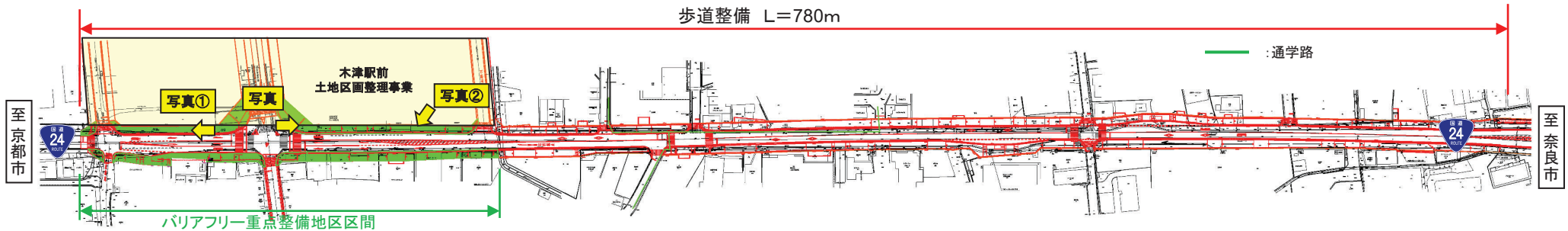
統一感のある連続的な空間を形成するため、「景観配慮型防護柵のマスタープラン」に基づき防護柵を選定した。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

転落防止柵、照明灯の色彩は、周辺の景観と調和するため、ダークブラウンとした。

#### 【歩道事業】

当該箇所は、市役所・警察署・病院・JR木津駅などの公共施設があり歩行者の交通量が多いが、歩道が狭い区間であるため、歩行者の安全が確保されておらず、非常に危険な状況となっている。また、当該箇所は、バリアフリー重点整備地区に指定されている箇所であった。本事業は、土地区画整理事業に併せて歩道を整備することで、安全で安心な歩行空間を確保したものである。



## ●景観形成の目標像

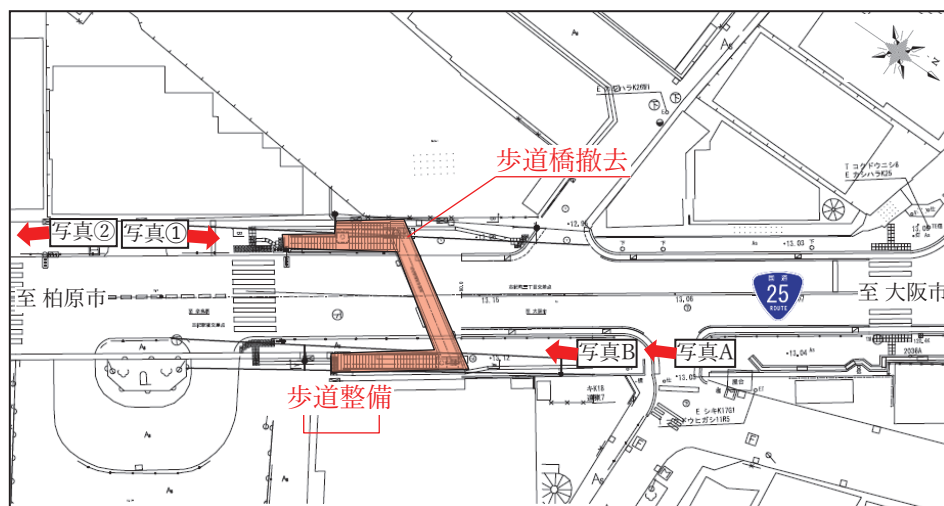
周辺の景観と調和した景観形成を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

統一感のある連続的な空間を形成するため、前後区間もあわせ歩道舗装を実施し、交差点としての統一感を図った。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

安全に歩行できるよう横断歩道橋撤去後の歩道に誘導ブロックを整備した。



### 国道25号志紀駅前歩道整備事業

当該地区は、八尾市交通バリアフリー基本構想重点整備地区に位置づけられているものの、誘導ブロックが未整備の箇所や横断歩道橋によって狭隘な歩道となっていた。

本事業は、誘導ブロックの整備及び横断歩道橋の撤去を実施することで、誰もが安全・快適に歩行できる空間を確保したものである。

(事業前)



(事業後)



## ●景観形成の目標像

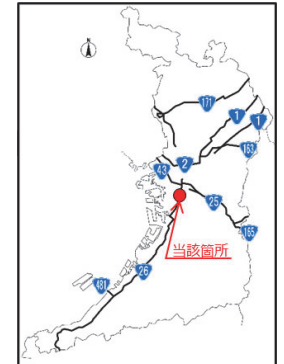
周辺の景観と調和した景観形成を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

統一感のある連続的な空間を形成するため、前後区間と統一した歩道舗装を実施した。

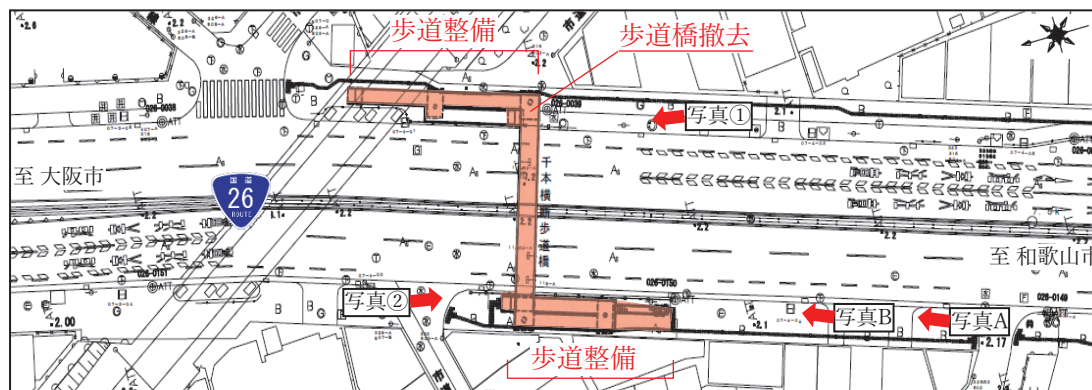
### ②細部設計、材料等の選定の考え方

横断歩道橋撤去後の歩道整備には前後区間の連続性確保のため同様な材料を選定した。



### 国道25号岸里地区歩道整備事業

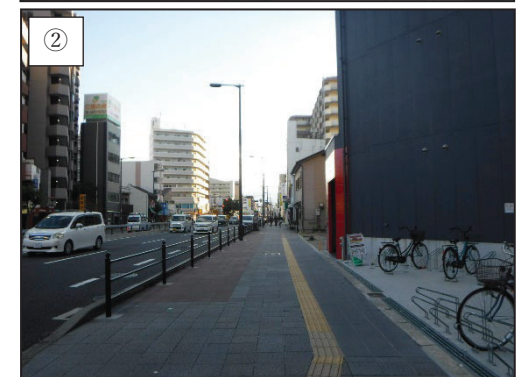
当該箇所は、区役所、郵便局、大阪メトロ駅等、公共施設が集約されている地域で、横断歩道橋の影響のため狭い歩道幅員箇所では歩行者通行の妨げとなっていた。現況横断歩道橋を利用した通学路となっていたが、通学路を別途ルートとするため利用者が減少する見込みがあることから横断歩道橋を撤去し、歩道拡幅整備を行ったものである。また、地域からも撤去要望があがっていた。



(事業前)



(事業後)



## ●景観形成の目標像

歴史的町並みと調和した歩行空間の整備を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

歴史的町並みに配慮するため、防護柵に擬宝珠付支柱用いるなどの意匠を採用した。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

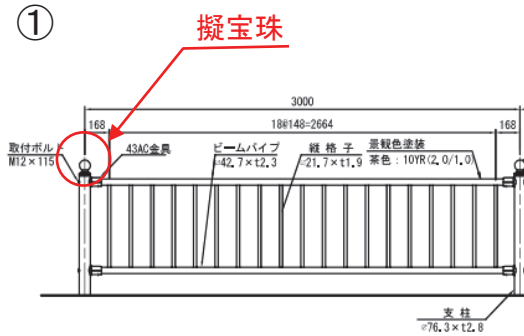
眺望障害防止と自然景観への馴染みの観点から明度彩度の低いダークブラウンの防護柵を採用した。



至 和歌山

(事業後)

至 京都



(事業前)



至 京都

至 和歌山





## ●景観形成の目標像

周辺の市街景観と融和する歩道空間の整備を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

防護柵は、周辺の町並み景観との融合させるためオフグレー系の色彩とした。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

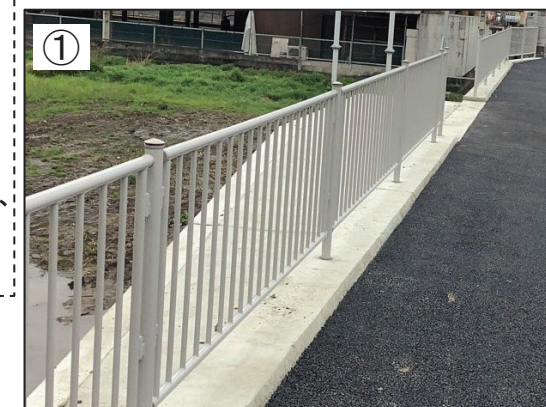
防護柵はシンプルな形状の製品を採用した。



#### 【整備内容】

自動車の交通量が多い区間であるが、歩道が極端に狭隘であり、歩行者のすれ違いや追い越しの時は車道にはみ出すこととなるため、歩行者の安全が確保されておらず、非常に危険な状態となっている。

本事業は、歩道を設置することにより、安全・安心に通行できる歩行空間を確保するものである。



## ●景観形成の目標像

周辺環境へ配慮した電線共同溝整備を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

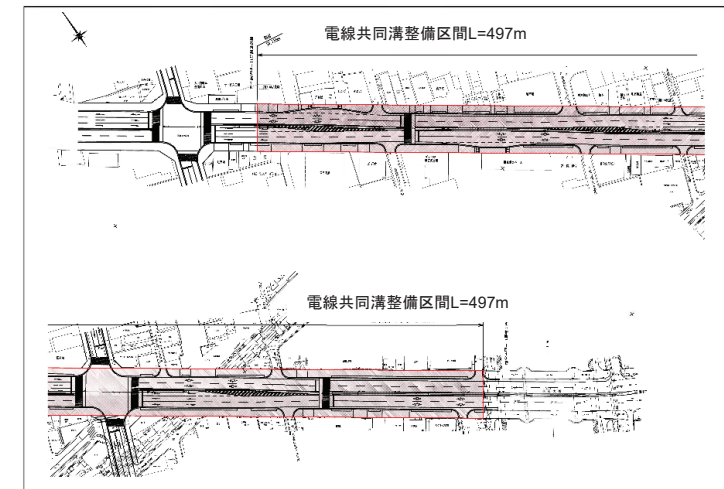
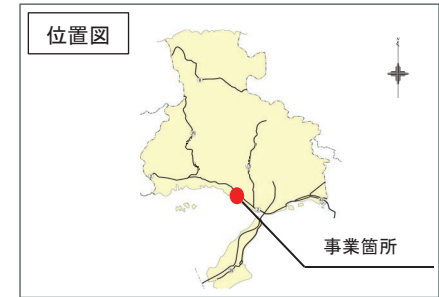
防護柵等は周辺環境との調和を図るため、色彩を統一した。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

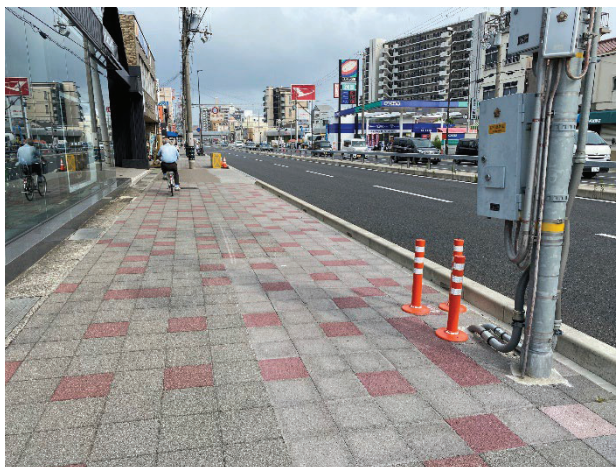
防護柵は、透過性があるものを採用し、色彩は、周辺の景観と調和するダークブラウンとした。

#### 明石西新町電線共同溝事業

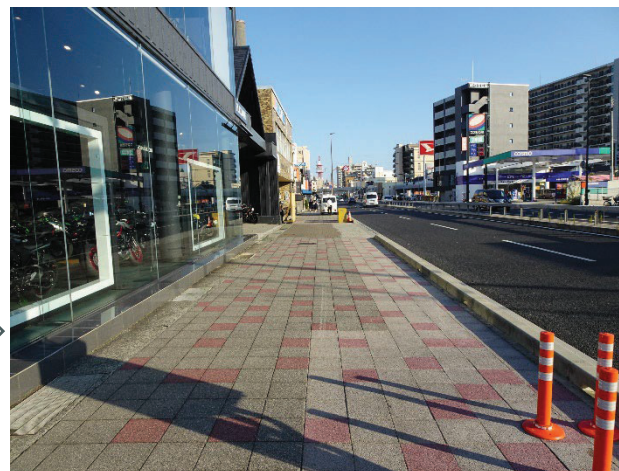
明石西新町電線共同溝事業:災害の防止、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、電線共同溝を整備した。



(事業前)



(事業後)



①標識柱



②防護柵



## ●景観形成の目標像

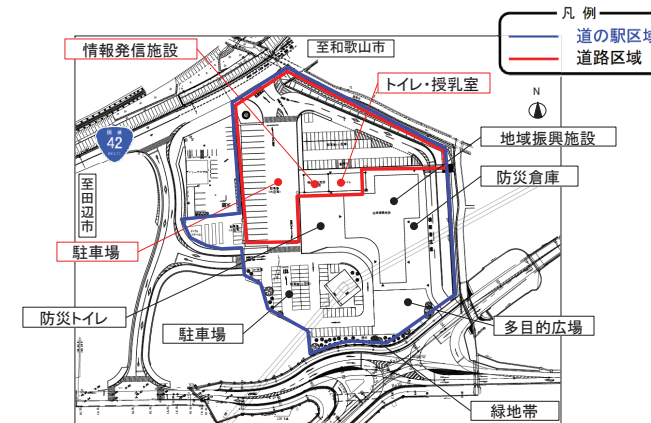
道の駅整備基本計画(海南省)に定めた道の駅コンセプトにあった景観形成を行う。

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

海南省道の駅整備基本計画に定められた「下津町地域の顔となる施設としてデザイン性のある「下津らしさあふれる空間」を創出するとともに、道の駅の利用者が当事業で整備するトイレ・道路情報提供室と海南省が整備する地域振興施設の両方を利用しやすい動線となるよう施設配置し、デザインや色調を合わせた計画とした。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

住民や商業施設の利用者に配慮した景観、歩行者動線とするため、トイレ・道路情報提供室へのサイン等を分かりやすくするとともに身障者にとっても利用しやすい設計とした。



(事業後)

(事業前)

